

新型コロナウイルス関連 アンケート② まとめ

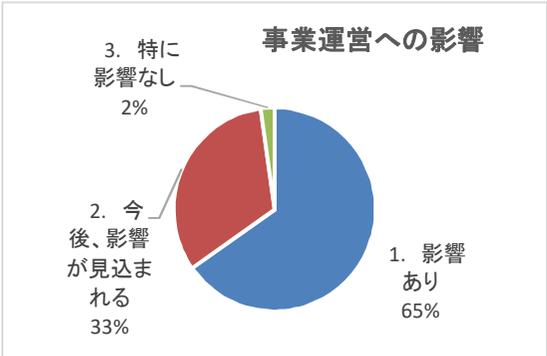
実施期間: 令和2年4月13～20日

回答件数: 46件

神戸市シルバーサービス事業者連絡会

1. 新型コロナウイルスの感染拡大によって事業運営に影響がありましたか。

	件数
1. 影響あり	30件
2. 今後、影響が見込まれる	15件
3. 特に影響なし	1件

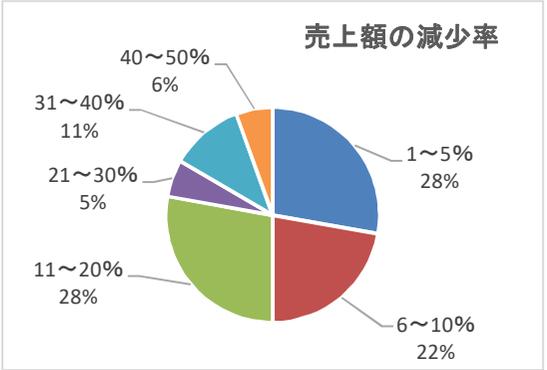


2. どのような影響がありましたか。または今後見込まれますか。

1. 売上額

	件数	1～5%	6～10%	11～20%	21～30%	31～40%	40～50%
増	2件	1件	1件	0件	0件	0件	0件
減	26件	5件	4件	5件	1件	2件	1件

※回答があった件数のみ集計しています。



2. 営業日(時間)

	件数
増	0件
減	2件 ※1日

3. 従業員の休暇取得

延べ日数

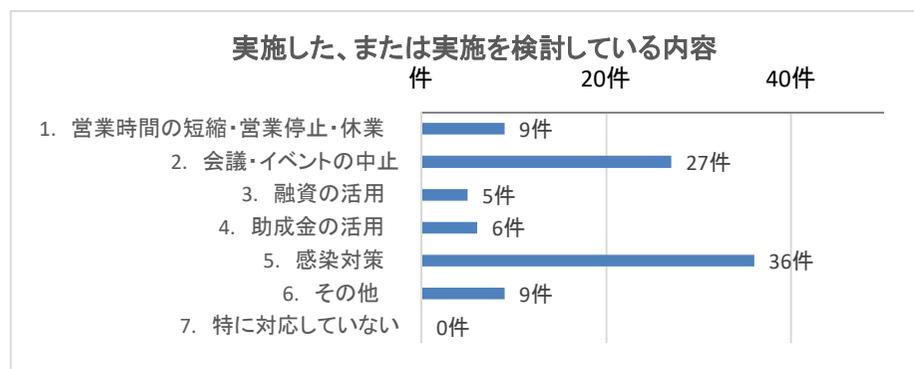
休暇取得理由	件数	1～5日	6～10日	11～20日	21～30日	31～50日	51～100日
休校の影響による	12件	4件	3件	3件	1件	0件	1件 ※100日
ご利用者の罹患・濃厚接触等による	2件	0件	1件	0件	1件	0件	0件
従業員・家族の罹患・濃厚接触等による	1件	1件	0件	0件	0件	0件	0件
感染拡大防止のための自主的な自宅待機	12件	5件	1件	3件	3件	0件	0件

4. 人員の確保・雇用維持の状況について

	件数	コメント
人員の確保について	6件	・慢性的に人手不足。人手を確保できない状況が続いている。求人しても動きがない。 ・コロナで働きたくないというヘルパーからの申し出が増加。
雇用維持ができなくなる懸念	2件	・給与も含めて完全維持。パート職員等の自宅待機にも給与を支払い雇用を維持。

3. どのような対策をしましたか。

実施した、または実施を検討している内容	件数
1. 営業時間の短縮・営業停止・休業	9件
2. 会議・イベントの中止	27件
3. 融資の活用	5件
4. 助成金の活用	6件
5. 感染対策	36件
6. その他	9件
7. 特に対応していない 今後も特に対応する予定はない。	0件

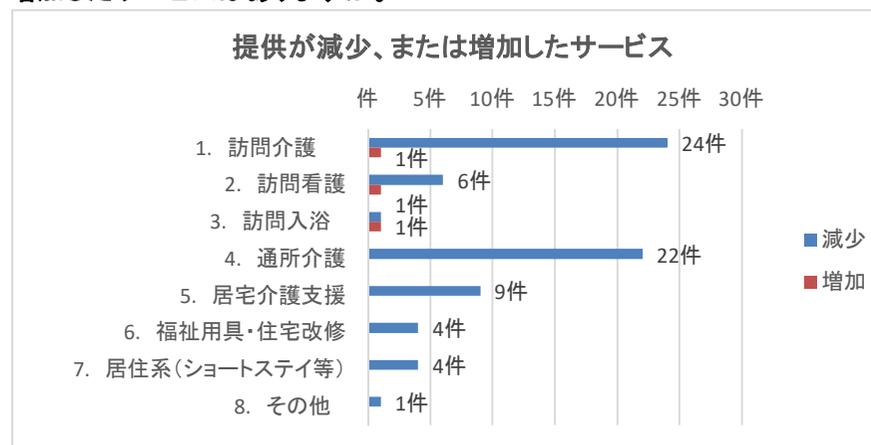


コメント

1. 営業時間の短縮 営業停止・休業	訪問の延期、訪問日の調整・回数減
	デイサービス利用件数の減少、または休み
2. 会議・イベント の中止	各種会議(代表者・全体)・学会・研修会の中止。(延期1回・5~6回中止・10回くらい中止・すべて中止)
	外部からの参加を取りやめ、内部のみで実施。カンファレンスは書面で実施。Web会議
	館内のご入居者向け活動の中止(サークル活動・衣類販売会・介護予防教室・音楽レク)
3. 融資の活用	公庫・コロナ対策の融資(▲0.9%金利の分)を検討中。新型コロナウイルス感染症特別貸付
	日本政策金融公庫
4. 助成金の活用	雇用調整助成金を今後検討していく
	小学校休業対応助成金
5. 感染対策	手洗い・手指消毒・うがい・マスク着用・グローブの着用。アルコール・マスク・手袋等の衛生用品を配布
	検温等、職員、利用者の体調管理(記録・健康チェック表)
	館内、器具の消毒(アルコール・次亜塩素酸)
	面会の制限・外出の自粛
	三密を避け、換気を十分する
6. その他	従業員に新型コロナウイルスについての正しい知識を持ってもらう
	従業員の交代勤務。4/1より2班に分かれて業務している。(社員のみのみ。登録ヘルパーは通常通り。)
	在宅ワークへの移行。職員の休憩場所を増やし分散させる。
	職員感染時のシミュレーション

4. 新型コロナウイルスによる影響で提供が減少したサービス、逆に増加したサービスはありますか。

業 種	増	減
1. 訪問介護	1件	24件
2. 訪問看護	1件	6件
3. 訪問入浴	1件	1件
4. 通所介護	0件	22件
5. 居宅介護支援	0件	9件
6. 福祉用具・住宅改修	0件	4件
7. 居住系(ショートステイ等)	0件	4件
8. その他	0件	1件



コメント

訪問介護	要支援のご利用者から休んでほしいとの申し出があったり、ヘルパーからも休みたいと申し出があるため、活動自体を休んだ。
	ご家族のテレワーク・在宅のため。
	デイの送り出し、生活援助が減少。
訪問入浴	デイサービスが休みのため訪問入浴に切り替えとなった。
通所	利用自粛。
	家族対応、通所利用を1ヶ所に絞ったため。
	利用者の減少。感染を恐れデイサービスを休まれる。
居宅	通所のみ利用方が1ヶ月利用がないとケアマネジメント料も発生しない。
その他	介護タクシー新規受注減

5. マスク等衛生用品は足りていますか。

	足りている	余裕がない※	足りていない	コメント
1. マスク	5件	26件	14件	
2. 消毒液(手指用)	8件	22件	16件	
3. 消毒液(その他)	9件	16件	12件	
4. 介護用手袋	17件	15件	5件	
5. ガウン	8件	4件	13件	「全くない」2件含む
6. その他	0件	0件	0件	ゴーグル等保護用品が足りない。

※余裕がない場合の在庫で対応可能な日数・期間

	1～10日	11～20日	～1ヶ月	～2ヶ月	～3ヶ月
1. マスク	2件	1件	6件	2件	1件
2. 消毒液(手指用)	1件	1件	5件	3件	0件
3. 消毒液(その他)	1件	1件	5件	0件	0件
4. 介護用手袋	0件	0件	6件	4件	0件
5. ガウン	0件	1件	0件	0件	0件

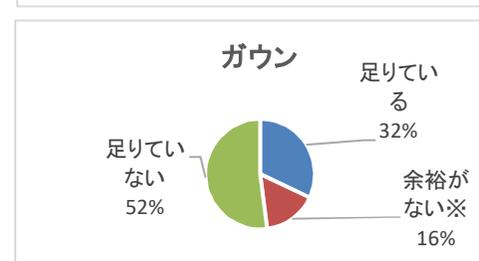
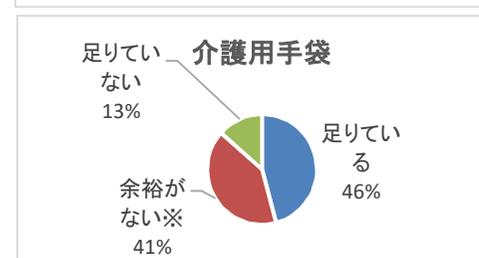
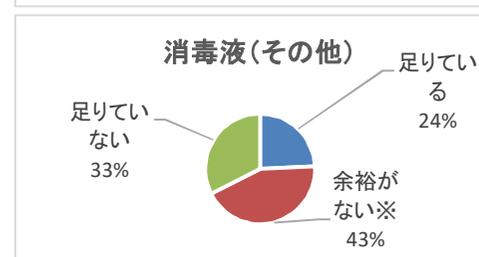
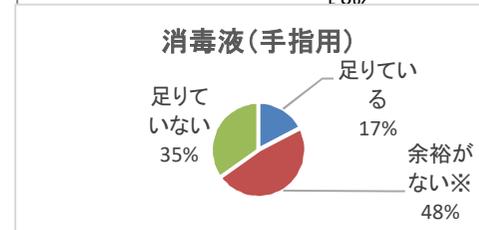
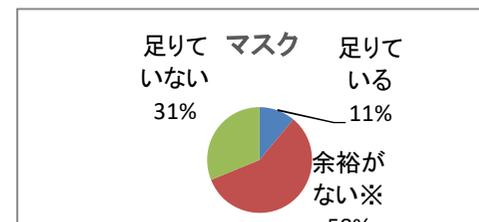
6. マスク等衛生用品の調達について

調達状況	件数	
1. 以前と同じルート・価格で調達出来ている	2件	
2. 以前と同じルートで調達できているが、価格が高騰している	5件 ※1	
3. 以前と同じルートから調達できず、いろいろなルートから買い集めている	31件	
4. 国から支給されたマスクについて	活用している	28件
	不足している	6件 ※2
	届いていない	0件

コメント

※1 2. 価格の高騰について 3～5倍(3件)・7倍・10倍(今後は手に入らない)

※2 4. 国から支給されたマスクの不足について 1人1枚だと不足



7. 「神戸市の対応方針第5弾」「複数の通所介護を利用している場合は1か所に集約する」についての対応状況

対応状況	件数	コメント
1. スムーズに対応出来た	17件	
2. 対応出来ないケースがあった	10件	対応できないケースが2例あった。
3. 該当者がいなかった	15件	該当者はおられるが短期入所中でスムーズに意見を聞くことができなかった。

8. 7. において2.「対応出来なかったケース」について理由をお答えください。

理由	件数
1. 利用者の意向・強い希望	5件
2. 1か所に集中し定員超過や利用者増による密集度があがるなどの理由で調整できなかった	2件
3. 入浴サービスの対応が難しいなどの理由で調整できなかった	1件
4. その他	2件

- コメント
- ・認知症の方のケースだと細かい配慮が必要で、1ヶ所に集約するとその事業所の負担が大きくなり難しい。
 - ・職員数に問題があり対応不可とのこと
 - ・小規模事業所から大規模事業所に一本化すると、ご利用者個人としては感染リスクが高まるケースがあった。(より多くの人と接触)
 - ・事業所の感染対策を評価できないまま、入浴サービス等の有無で事業所が選ばれることになっているのではないかと、目的や根拠の薄い選択に疑問がある。

9. その他、困っておられることや当連絡会へのご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

売上額の減少について

- ・通所介護の利用者が極端に減っており(30%程度)、週単位、月単位では赤字運営しているが、来所しないと生活の維持ができないご利用者もいらっしゃるので、営業日を減らすことができない。神戸市、国などから休まれている利用者の赤字補填を行ってほしい。
- ・3月の売上(前年比)は減っているが、4、5月と益々減少傾向になると思われる。先の見えない予測のつかない利用状況が目の前にある。

介護保険関連する要望

- ・国保連への請求を少し先延ばしにしてほしい。人手不足の中サービスの穴埋めをしているので。認定調査と介護予防については神戸市から明確な文書が送られてきている。
- ・居宅介護におけるモニタリング訪問やサービス担当者会議について国からの通知通りで良いかはっきり知りたい。
- ・ヘルパーからの休みたいという申し出が多く、介護崩壊につながりかねない状況。要支援の掃除等は利用者にお願ひし、要介護のみサービス提供、等にできないだろうか。検討してほしい。

ご利用者の反応

- ・入浴介助時に利用者からスタッフのマスクについて「マスクをされると不愉快です。」と言われる。ヘルパーの気持ちを考えるとこのまま訪問をし続けて大丈夫なのかと思う。

感染者が出た場合の対応について

- ・体調不良・感染による出勤停止者が出たり、業務停止になった場合、事業所に訪問介護等を依頼することになるが、人手不足で難しいことが予想される。感染が疑われるご利用者宅への訪問についての指針は出ているが、現実問題、スタッフ自身の感染やスプレッダーになる恐れからサービス提供を躊躇する事業所も出てくると思う。
- ・PCR検査はおろか、インフルエンザの検査も困難な状況で、正直有効な手段を思いつかない。
- ・職員から感染者が出た場合、サービス提供に限りがある。そういった場合にどう対応したら良いのか不安。
- ・各医療介護職員が無症状患者かもしれないとってしまうこと。
- ・自宅待機の診断をうけたご利用者宅の訪問や中央市民(感染者が出た)に通院しているご利用者宅への訪問をヘルパーがしぶるので困っている。

衛生・防護用品について

- ・必要不可欠な衛生用品は何とか調達してほしい。

以上